

平成29年度 東京都教育委員会委託事業  
東京都幼小中高PTAリーダー合同研修会

くじけない心の育て方 ～チャレンジする心を育てる～

2020年には東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

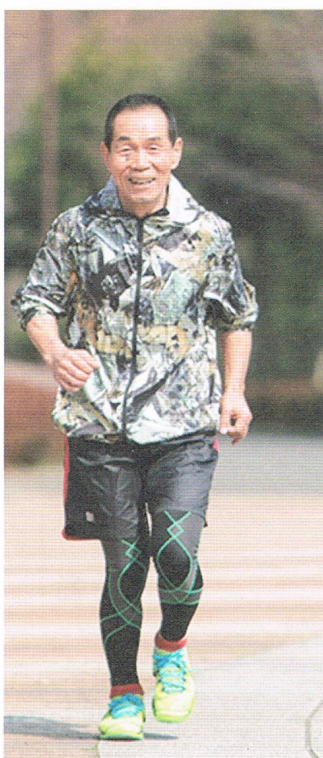
この大会には、全ての子供たちが、様々な形で関わることにより、体力の向上はもちろんのこと、積極性や自己肯定感を高めていくなど、一人一人の人生の糧となるような掛け替えのないレガシーを形成する絶好の機会でもあります。

本研修会では、第一部として、マラソンにおいて、実業団の監督やインストラクター、トレーナーとして、多くの選手や市民ランナーを育てた経験を持つ坂本氏を講師としてお招きし、様々な場面でチャレンジや努力を続けている子供たちに、大人として、保護者として、どのように寄り添い、サポートすることにより、子供たちの積極性や自己肯定感を高めることができるのか、子育てのヒントを得られる場になればと考えています。

また第二部として、現職の学校長であり、柔道部顧問としても多くの生徒を指導した経験を持つ磯村氏を講師としてお招きし、指導者としての豊富な経験から、子供たちの積極性や自己肯定感を高めるためにはどのようにしたら良いのか等について、考えていきたいと思えます。

- ◆日時 平成29年12月16日(土)  
13時30分～15時30分(受付13時～)
- ◆会場 都立石神井高等学校 視聴覚室 (西武新宿線武蔵関駅北口下車徒歩7分)
- ◆内容 講演会第1部 坂本雄次氏(マラソンプロデューサー)  
講演会第2部 磯村元信氏(都立秋留台高等学校校長)

坂本雄次先生のプロフィール



AIMS公認距離計測検定員・国際スプリント協会日本支部代表・一般社団法人日本ウルトラランナーズ協会(JUA)理事。  
1976年、30才の時健康(ダイエット)のため自分でランニングを始める。その後在籍していた東京電力の陸上部で監督を15年間務め、素人集団の中からフルマラソンを2時間30分台で走るランナーを数多く育てる。1993年7月、「100kmウルトラマラソン」などのランニング大会を企画・運営する(株)ランナーズ・ウェルネスを設立。その前年(1992年)には日本テレビ「24時間マラソン」の企画立ち上げに携わり、以後、この企画は坂本雄次のサポート・監修により今日に至っている。  
近年、急増する長距離や超長距離を走る市民ランナーを大会現場やテレビ番組を通じて設計・サポートする事業形態の原型が形作られたのもこの頃である。24時間マラソンの初代チャリティーランナーとなったお笑い芸人間寛平さんとはその後も長く交流を続け、彼がチャレンジするランニングシーンでは常に二人三脚のサポーターとしてのアシストを果たしている。  
「震災復興応援 神戸～東京600km走」や「地球一周 寛平アースマラソン」(2008～2011年)、「被災地支援 KANPEみちのくマラソン」(2012年～)など多数。2007年3月には神奈川県初となるフルマラソン「湘南国際マラソン」の立ち上げに尽力。大会は2016年大会で11回となり、2万人を超えるランナーが海岸線を駆け抜ける光景は湘南の秋の風物詩となっている。この大会の誕生は商工観光の民力を中心に大会を企画・運営する新しい手法として全国的に知られるところとなる。2013年5月には、市民参加型のフルマラソン「横浜マラソン2015」の大会プロデューサーに就任。引き続き「横浜マラソン2016」の大会づくりに携わった。  
著書 「ウルトラマラソンのすすめ」(平凡社)、「フルマラソン完走法」(主婦の友社)、「なぜあなたは走るのか 激痛に涙溢れてもなお」(日本テレビ出版)、「あなたもできるフルマラソン」(学習研究社)など。